

遭遇するかもしれない緊急性の高い難病
『遺伝性血管性浮腫』
2025最新の診断と治療および多科・施設間連携

日時

2025年2月14日（金曜日）19:00 - 20:30

会場

プロミティあつぎ 8階 D会議室（Hybrid開催形式）

住所：神奈川県厚木市中町4-16-21 TEL：046-221-7838

URL：<https://>

Opening Remarks： 東海大学医学部専門診療学系皮膚科学教授 馬淵 智生先生

特別講演 1

19:00~19:45

「～救急医療と内科・皮膚科との医療連携～」

座長

東海大学医学部専門診療学系皮膚科学
教授 馬淵 智生先生

演者

東海大学医学部外科学系救命救急医学
講師 青木 弘道先生

特別講演 2

19:45~20:30

「遺伝性血管浮腫の内科的管理の留意点と
多科連携、地域連携」

座長

聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科学
教授 大岡 正道先生

演者

聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科学
講師 山崎 和子先生

Closing Remarks：

聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科学
主任教授 川畑 仁人先生

セミナー参加方法

Zoom参加のお申込み

右の二次元コードより、お申込みください。



二次元コードが読み取れない場合、下記リンクより直接入力をお願いいたします

[https://\[redacted\]](https://[redacted])

特別講演1：「～救急医療と内科・皮膚科との医療連携～」

HAEは希少疾患であるが、時として喉頭浮腫など生命に関する事があり、救急医において、その初療の対応は非常に重要である。今回、当院で内科や皮膚科と連携して対応したHAEの症例を提示する。先生方に私のささやかな経験を共有する機会となれば幸いです。

東海大学医学部外科学系救命救急医学 講師
青木 弘道先生

特別講演2：「遺伝性血管浮腫の内科的管理の留意点と多科連携、地域連携」

遺伝性血管浮腫（HAE）は遺伝性の希少疾患として知られているが、孤発例、膠原病との合併例等も経験する。当院には、約40人のHAE患者さんが通院されている。当院症例のまとめと小児、妊婦、膠原病合併例等の症例提示を行い、HAE診断のPitfalls、発作時および発作予防における内科的管理の留意点をHAE診療の2025 Updateを踏まえて発表する。また、聖マリアンナ医科大学でのHAE診療における多科連携、地域連携について紹介し、課題を共有したい。様々な科の医師も遭遇するかもしれない緊急性の高い疾患であることを知って頂ければ有難いです。

聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科学 講師
山崎 和子先生

ご視聴登録時にご芳名・ご所属・メールアドレスなどの個人情報をいただく場合がございます。ご提供いただいた個人情報は、本講演会のご参加確認・フォローアップ、弊社製品およびサービスの説明、教育、プロモーション等の情報・資材の提供、または、面談予約目的で使用させていただきます。弊社は、弊社プライバシーポリシー(<https://privacy.csl.com/>)に従って、個人情報を安全かつ適切に管理いたします。

お問い合わせ先：CSLバーリング株式会社

Mail to

Mobile